

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	畜産課長 田邊 裕彦	電話番号	0852-22-5132
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	死亡家畜処理体制整備事業		
目的	(1) 対象	畜産農家、各地区死亡家畜処理推進協議会	
	(2) 意図	各地区協議会の中間保管施設設置を支援することで、継続的な死亡家畜(牛)適正処理体制の構築及び一元的な牛海綿状脳症(BSE)検査体制を維持する。	
事業概要	一元的な死亡牛BSE検査体制維持を図るため、各地区協議会が運用する中間保管施設等による新たな死亡家畜適正処理体制の構築を支援する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年間のBSE検査対象死亡牛の検査実施率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	BSE検査実施頭数/BSE検査の対象死亡牛頭数	目標値				
			実績値						
			達成率						%
指標名	式・定義	年間BSE検査実施率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値					0.00	
			実績値						
			達成率						%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	0	51,000
うち一般財源 (千円)	0	51,000

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	(未選択)
---------------------	-------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

②困っている状況が発生している「原因」

③原因を解消するための「課題」

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）